

国立都城工業高等専門学校

中規模都市における「小・中学校向け理科教育支援」

～高専サイエンス支援ネットを利用した学生を主体とした活動を中心として～

高専連携で科学イベントを振興!

他高専生との交流で刺激

2018年11月、宮崎県第二の都市に立地する都城工業高等専門学校で「第6回 都城高専おもしろ科学フェスティバル」が開催された。小学生を中心とした1500人以上の来場者は、クリップモーターの製作など、高専ならではの科学イベントを楽しみ、アンケートでは「この学校に入りたい」といった感想も相次いだ。一方、運営側の高専生から最も多く聞かれたのは「他高専生と交流を深められた」という声だった。

同イベントの運営には、地域の科学イベント振興を目的とした、九州・沖縄9高専による「高専サイエンス支援ネット」が参加しており、他高専生と学校生活や就職などの情報を交換できたことは、大いに刺激になったようだ。



毎年開催している「おもしろ科学フェスティバル」



生徒も小学生も真剣!



有明実験工作教室



●実施担当

赤木洋二 准教授

●活動のモットー

生徒たちの可能性を引き出すため、できる限り多くの「チャレンジの場」を提供するようにしている。ただし、個々の課題は生徒自身に乗り越えさせる。

学校概要



工学系4学科を設置。国際性と地域の課題解決を融合した「グローバル農工学教育研究センター」を擁するなど特色ある教育を実施。

設立:1964年

生徒数:本科816人,専攻科42人

所在地:宮崎県都城市吉尾町473番地の1



中谷財団の成果発表会

新運営方式で深めた自信

特に、2018年度は新たな試みとして、各高専生が自校ブースを担当する方式から、参加生徒をくじ引きで他校ブース担当に振り分ける「シャッフル方式」を採用して、従来より緊密な交流ができた。この方式について、都城高専の赤木洋二准教授は「いろいろなブースを経験させて生徒たちを理科教育の指導者として鍛えて、教員の負担を減らすことが目的でした」と話す。

当初はスムーズにいくか心配したが、生徒たちはすぐにLINEグループを作って打ち解けた。さらに、「シャッフル方式でイベントに臨み、互いに教え合ったり、突発的な事態に対応した経験を経て、生徒たちは自信をつけた」という。2019年度、都城高専では指導の対象をレベルアップさせ、中学生の自由研究指導を予定している。困難も予想されるが、赤木准教授は自信をつけた生徒たちの更なる成長に期待していた。

(令和元年〔2019〕度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索